

第87回

KYORITSU ELECTRIC (VIETNAM) CO.,LTD



- 事業内容: プリント基板検査装置の製造・販売
- 住所: 11th Floor, LADECO Building, No.266 Doi Can Street, Ba Dinh Dist, Hanoi
- TEL: (+84) 24-3959-0277
- FAX: (+84) 24-3959-0279
- URL: <http://www.testsystem.co.jp/jp/index.html>

KYORITSU ELECTRIC (VIETNAM) CO., LTDは、静岡県に本部を置く協立電機株式会社の100%出資現地法人として、2011年にハノイ市に設立されたプリント基板検査装置の輸入販売及び、メンテナンスサービスを行う会社です。主な取扱製品は、電子電気機器の内部に使用されているプリント基板の検査に使用されるテスターです。今回は、そんなKYORITSU ELECTRIC (VIETNAM) の大畑社長にお話をお伺いしました。

●ベトナム進出の経緯を教えてくださいか？
弊社は、現在ASEANに14拠点ございますが、ベトナムはその12番目の拠点として2011年11月に設立されました。弊社の主要商品である基板検査装置は、プリント基板を製造する電機メーカーでは、必ず使用される装置です。ベトナムも日系電機メーカーの進出が進み、需要が拡大する中、当初はマレーシアの現地法人がベトナムの対応を行っていましたが、日系電機メーカーの需要の拡大が進む中で、やはり距離的にもスムーズな対応が難しいという事で、ベトナムでの現地法人を検討するようになりました。実は、2009年のリーマンショック以前からベトナムへの進出を検討しており、既に場所も抑えていましたが、リーマンショックでベトナム進出が一旦ストップしてしまいました。その後は、一旦は落ち込んだものの、再びベトナム国内でのビジネスが順調に拡大してきたため、改めてベトナム拠点が必要との判断で現地法人の設立となりました。設立当初の1年目は、タンロン工業団地内に

事務所を置き北部の日系企業営業活動を中心に、徐々にお声掛けを頂けるようになりました。2年目以降は、順調に事業を拡大することが出来、北部の各工業団地へ訪問する機会が増えましたので、2014年に事務所を現在のバーディン区へ移転しました。

●事業内容を教えてください

弊社は、電子電気機器に使用されておりプリント基板の検査装置であるインサーキットテスター、外観検査装置、ファンクションテスター、ファンクション検査治具等の輸入販売及び、修理・メンテナンス事業を行っております。検査装置は全て日本からの輸入品となります。一方で検査治具に関しましては、プリント基板ごとに短納期での納品が求められますので、タイ又はマレーシアへ治具製作依頼を行い納入しております。プリント基板の検査設備が揃っていないと製造ラインが止まってしまうので、検査治具は通常非常に短納期での納品が要求される物になります。その為、協立ベトナムか

ら近いタイの治具メーカーに依頼を行うようにしており、完成時には、タイの工場を訪問し問題が無いかどうかの確認を行って、直ぐに納品できるようにしています。この為、タイへの日帰り出張なども頻繁に発生しています。また、ラインが止まってしまうことの無いようにベトナム人エンジニアによるメンテナンスも行ってあります。プリント基板は、製品によって大きなものから小さなものまで様々ございますが、弊社では、あらゆる大きさのプリント基板の検査装置に対応することが可能です。弊社の強みとしましては、短納期の治具手配への対応が可能である点や、機械の故障などが発生した際の迅速な修理対応が可能である点があるかと思えます。

●ベトナムでの事業の見通しを教えてください

弊社は、2011年末にライセンスを取得し、2012年のテト明け以降から本格的にベトナムでの事業を開始しました。設立当初は、存在がまだそれほど知られておらず日系企



業様からお声掛けを頂くことは少なかったのですが、地道な営業活動の甲斐もあり、設立から1年ほどしたところから現地の日系業様からお声掛けを頂くことが増えるようになりました。事業自体は、順調に伸びており今後も中国などの周辺国からベトナムへの製造拠点の移転なども含め、進出日系企業は堅調に増加するのではないかと考えていますので、まだまだベトナム国内でのビジネスには伸びしろがあると思います。プリント基板は、電子機器をはじめ様々な製品で使用されており、またその基板検査は、必須事項ですので、ベトナムでの今後の電機・電子産業の発展と共に、弊社のビジネスも拡大できるチャンスが拡大すると考えています。

●ベトナム人社員の評価を教えてください。

現在弊社では、エンジニア3名、営業1名、総務経理1名、日本人1名の6名体制で活動しております。ベトナム人エンジニアは、大学で電気を専攻した人材を採用し、タイで研修を行っています。皆非常に優秀だと感じています。但し、ベトナムの大学では、強電に関する知識をメインに学習するようで、弱電に対しての知識面では若干弱い部分もあるように感じています。それでも、元々頭が良いので、教えればすぐに習得できる強みがあると思っています。日本からエンジニアが来て説明しても呑み込みも早く、新しいことにも熱心に取り組めますので、重宝しています。

●NEPCON VIETNAMへ出展について教えてください。

NEPCON VIETNAM は、ベトナムで最大の電機・電子分野の展示会ですが、2015年から参加しておりまして、今回も2017年9月

13日から15日までハノイ市で開催されるNEPCON VIETNAM2017に3年連続で出展を行います。

NEPCON VIETNAMは、ハノイ市とホーチミン市で毎年交互に開催されていまして、最初は2015年のハノイ市での開催に出展し、去年はホーチミン市で出展、そして今回はまたハノイでの出展となります。ホーチミン市とハノイ市で展示会自体には、それほど大きな差はないと感じていますが、やはりハノイ市の場合は、既存のお客様を中心にご訪問いただけるのに対して、ホーチミン市では、新たな企業様との出会いが多くある点が少し異なる部分だと感じています。

今回の出展では、低価格帯の画像検査装置からハイスペックな3D外観検査機械(AOI)まで、各種検査装置を展示する予定です。展示会への出展がすぐにビジネスに直結しているわけではないですが、北部と南部で弊社の存在を知って頂く試みとしては、一定程度の成果はあげられていると感じています。今回の展示会では、画像検査装置の性能を実感してもらうために、間違い探しの絵を使ったデモンストレーションを行う予定にしています。間違い探しの絵の間違いを瞬時に判定しますので、見学頂ければ検査装置の性能を実感して頂けると思います。

また、弊社の検査装置は、プリント基板の検査以外にも様々な検査工程に応用できる技術ですので、検査工程でお困りのことがありましたら、お気軽に弊社ブースにお立ち寄り頂き、ご相談を頂きたいと思っています。

●ベトナムで事業を行う上でお困りの点はありますか？

弊社の製品の場合、検査機械自体は、様々な形状のプリント基板の検査に対応できるのですが、実際に検査を行う為には、それぞれの基板に合った治具を製造する必要があります。この治具は、製造に合わせて用意する必要があり、非常に短納期での納品が求められる製品ですが、ベトナム国内では、まだ治具を調達することが出来ないため、マレーシア、タイなどのASEAN加盟国から調達する必要があります。例えば、タイで製造する場合、製造を依頼して完成時点で朝一番にタイへ行って現地で確認を行い、問題が無ければその日のうちに持って帰ってくるという方法で対応しています。短納期への対応は苦勞も多いですが、弊社の強みでもありますので、今後も迅速に対応していきたいと考えています。

もう一点は、離職率の問題です。ベトナム人は、優秀な人が多いですが、離職率も高いの

が頭の痛いところです。社員の定着率を高めるために、社員の誕生日には一緒にお祝いをしてあげたり、毎月1回は社員全員での食事会を行ってコミュニケーションを高めるなどの工夫をしています。今後も待遇面や福利厚生面を充実させることで社員の定着率を高める工夫をしていきたいと考えています。

●今後の展開について教えてください。

今後もベトナムへの電機・電子メーカーの進出は伸びると予測していますので、いち早くそのような情報をキャッチし、ベトナムでのプリント基板検査装置その他をご提供していきたいと考えています。また、これまでは北部を中心に展開してきましたが、今後は南部への営業活動も力を入れていき、近い将来には、南部にもエンジニアを常駐させる体制を整えたいと考えています。また、これまでは、ほぼ全て日系企業への販売でしたが、日系企業以外の企業様に対しても積極的にアプローチをしていければと考えています。また、現在は、タイやマレーシアから調達している検査治具を、将来的にベトナムで調達できるようにになれば、納期や価格の面でお客様にメリットをご提供できるようになりますので、継続的に現地調達の方法を模索していきたいと考えています。

ありがとうございました。

